

2021年11月10日

『まず算数からはじめる公立一貫校対策』(1刷)に下記の誤りがありました。

おわびして訂正いたします。

「1回 数のきまり」

●本文 P.15

問題 (誤)先ほどの箱に、ある2つの数を入れたところ、「30」が出てきました。ある2つの数としてふさわしい数を(○, □)の形ですべて求めましょう。

(正)先ほどの箱に、1以外の公約数を持たないある2つの数を入れたところ、「30」が出てきました。ある2つの数としてふさわしい数を(○, □)の形ですべて求めましょう。

●本文 P.17

先生 (誤)ではふさわしくない数に気をつけながら、出てきた数が「36」の場合に入れた2つの数を(○, □)の形ですべて求めてみましょう。

先生 (正)では、出てきた数が「36」の場合に入れた、1以外の公約数を持たない2つの数を(○, □)の形ですべて求めてみましょう。

●答えと解説 P.4

チャレンジ 適性検査を体験しよう

2 問6 解説

(誤)問5より条件にあてはまる y と z は、その積を素因数分解したときに、かけられている数が異なっていればよいことがわかる。2以上10以下であてはまる2つの数を考えると、(10, 3), (10, 7), (7, 2), (7, 3), (7, 5), (7, 6), (6, 5), (5, 2), (5, 3), (3, 2)となる。このうちから3つ答えればよい。

(正)条件にあてはまる y と z は、問5より、その積を素因数分解したときに、かけられている数が異なることがわかる。例えば、 $y=10$, $z=9$ のとき、 $\langle 10 \rangle \times \langle 9 \rangle = (2 \times 5) \times 3 = 30$, $\langle 10 \times 9 \rangle = \langle 90 \rangle = 2 \times 3 \times 5 = 30$ となり、条件にあてはまる。2以上10以下であてはまる2つの数の組み合わせは22通り。以下のうち3つを答えればよい。

$(y, z) = (10, 9), (10, 7), (10, 3), (9, 8), (9, 7), (9, 5), (9, 4), (9, 2), (8, 7), (8, 5), (8, 3), (7, 6), (7, 5), (7, 4), (7, 3), (7, 2), (6, 5), (5, 4), (5, 3), (5, 2), (4, 3), (3, 2)$

「5回 速さ」

●本文 P.86

ゆり (誤)また区間2の秒速 90cm は〔⑩〕

]という意味で,

ゆり (正)また区間3の秒速 90cm は〔⑩〕

]という意味で,

『まず算数からはじめる公立一貫校対策』

ISBN 978-4-8403-0576-1